

# ひび割れ抑制へ知識深める

## 県コンクリート診断士会が技術交流会

福井県コンクリート診断士会（石川裕夏会長）は22日、福井市内の県職員会館で技術交流会を開催した。

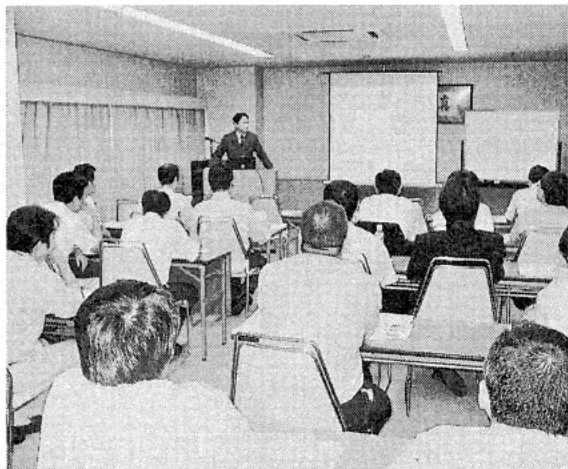
当日は建設会社やコンサルタント業者ら23人が参加。会員6人が劣化しているコンクリート構造物に関する診断事例を引き合いに検証結果を発表した。

この中で、石川会長は橋台に発生したひび割れの標準調査と温度応力解析について報告した。材料や施工、ひび割れパターン、気象状況などの観点から検討した結果、「セメントの水和熱によ

る温度ひび割れの可能性が大きい」と判断。ひび割れ幅なども考慮し、適切な補修工法としてエポキシ樹脂材料の注入工法

を提案したと述べた。

コンクリート構造物を取り巻く近年の現場状況は、温度ひび割れや乾燥収縮ひび割れが多いという。各会員はひび割れの可能性を最大限低減させるべく、異業種の視点から活発に意見交換していた。



23人が参加した県コンクリ診断士会の技術交流会